

Campagnolo®

BAR END
BRAKE
LEVERS





警告!

この取扱説明書の指示をよく読んで、理解し、従ってください。この取扱説明書は製品の重要な一部です。いつでも参照できるように安全な場所に保管してください。

メカニックの資格 - 自転車に関する多くの点検や補修作業には、特別な知識や工具、経験が必要になります。一般的な機械に対する知識だけでは、正しく自転車を点検したり、補修したりするためには十分とはいえません。ご自身の点検、補修の能力について少しでも疑問があれば、適切な技術のある販売店にご相談ください。

「事故」 - この取扱説明書の中では一貫して、「事故」が起こる可能性について言及しています。どんな事故でも、自転車やその構成部品を損傷させる可能性があります。それ以上に重要なことは、運転者や第三者に重大な身体損傷を負わせたり、死亡の原因になる可能性があるということです。

想定された使用 - カンパニョーロ®製品は、平滑な道路や自転車競技用走路を走るロードレース用自転車にのみ使用されるように設計、製造されています。この製品をそれ以外のオフロードやトレイルで使用することは禁じられています。

製品寿命 - 磨耗 - 点検の必要性 - カンパニョーロ®構成部品の製品寿命は、ライダーの体格、乗車する条件など、多くの要因に左右されます。一般的に、衝撃、落車、不適切な使用、過酷な使用は、構成部品の完成された構造を傷つけ、製品寿命を著しく縮めることになります。構成部品の中には時間が経つと消耗するものもあります。自転車に亀裂や変形、疲労や消耗の兆候がないか、適切なメカニックによって定期的に検査してください（部品の亀裂を探しだす探傷剤などの使用をお勧めします）。検査によって変形や亀裂、衝撃や圧力を受けた跡が見つかった場合、それがどんなに小さいものでも、すぐにその構成部品を交換してください。過度に疲労した構成部品もすぐに交換してください。

検査の頻度は多くの要素に左右されます。カンパニョーロ®正規販売店で、適切なスケジュールを確認してください。体重が82Kg (180lbs) 以上ある場合は特に注意し、それ以下の場合よりも頻繁に、亀裂や変形の形跡、その他の疲労や圧力を受けた兆候がないかを検査する必要があります。選択した構成部品が使用目的に合っているか、どれくらいの頻度で検査を行うかを決めるにあたっては、カンパニョーロ®正規販売店にご相談ください。

重要な性能、安全性、ワランティに関するお知らせ - 9s, 10s, 11s ドライブトレイン、ブレーキ・システム、リム、ペダル、その他すべてのカンパニョーロ®製品の部品と構成部品は、ひとつの統合されたシステムとして設計されています。安全性や性能、耐久性、機能を損なわないために、また製品保証を無効にしないために、他社で製造された製品、部品、構成部品と組み合わせたり、取り替えたりせず、カンパニョーロ s.r.l.が供給、または指定した部品や構成部品だけを使用してください。

注意

カンパニョーロ®製品に類似した構成部品用として、他製造元が供給している工具の中には、カンパニョーロ®構成部品に合わないものがあります。同様に、カンパニョーロ s.r.l.が供給している工具の中には、他製造元の構成部品に使用できない場合があります。ある製造元によって供給されている工具を他製造元の構成部品に使用する前には、必ず正規販売店、または工具製造元にその適合性をご確認ください。

カンパニョーロ®製品を利用する使用者は、自転車の乗車には固有のリスクがあることを明確に認識するものとします。この危険には、自転車の構成部品が故障し、事故や身体損傷、死亡を引き起こす危険も含まれます（ただしこれに限定されません）。使用者は、カンパニョーロ®製品を購入し、使用することで、明白にかつ自主的、承知の上で、カンパニョーロ s.r.l.の受動的、能動的過失、または隠れた、潜在的な、または明白な製品瑕疵に限定されない、これらのリスクを受け入れ、または認識していることになります。そして、結果として生ずるいかなる損害に対しても、法律によって許されている最大限の範囲で、カンパニョーロ s.r.l.が保護されていることに同意しています。

安全のために

- カンパニョーロ®製品の構成部品には、いかなる改造も決して加えないでください。
- 曲がったり、事故や衝撃によって損傷を受けた部品は、伸ばして元に戻さないでください。純正のカンパニョーロ®部品と即座に交換してください。
- 身体に正しくフィットし、車の運転手に目立つように、ネオンカラー、蛍光色、明るい色のウェアを着用してください。
- 他からの視認性が悪く、路面の障害物を見つけにくい夜間の乗車は避けてください。夜間に乗車する場合は、ヘッドライトやテールライトを自転車に装着してください。
- 過去の使用歴やメンテナンス歴が不明な自転車や構成部品は、決して使用しないでください。「中古」の製品は過去に誤用されたり、酷使された可能性があります。予期しない故障が起こり、事故の原因になることがあります。
- ANSI、またはSNELLに承認された自転車用ヘルメットを、常に正しく装着し、あごひもを締めてください。

乗車する前に

毎回乗車前には以下の点検を実施してください。点検によって問題が見つかり、解決できない場合は、その自転車に乗車しないでください。

- ブレーキ、ペダル、ハンドル・グリップ、ハンドル・バー、フレーム、サドルとシート・ポストなど（ただし、これらに限定されません）、すべての自転車の構成部品が最適の状態にあり、使用に適していることを確認してください。
- 自転車のすべての構成部品に湾曲や破損がなく、正しく調整されていることを確認してください。
- ブレーキパッドとケーブルを点検し、正しく調整されていることを確認してください。
- 走行を始めるときにはブレーキをテストし、正しく動作することを確認してください。
- 自転車に関する法律、規則を正しく理解し、従ってください。乗車時にはすべての交通に関する信号、標識に従ってください。

ご意見やご質問、ご相談がございましたら、お近所のカンパニョーロ・サービスセンターにお問い合わせください。サービスセンターのリストは、www.campagnolo.comでご覧いただけます。

1. 工具

4mm 六角レンチ	3mm 六角レンチ
-----------	-----------

2. 技術仕様



注意! 適合性

バー・エンド・ブレーキ・レバーは、キャリパー・ブレーキ専用です。

ハンドル・バーの適合性

- ・ アルミ製のタイムトライアル用ハンドル・バー
- ・ ブレーキ取り付け部分にアルミ製インサートが付いた、カーボン製のタイムトライアル用ハンドル・バー
- ・ ハンドル・バーの内径: 18.9 - 20.6 mm

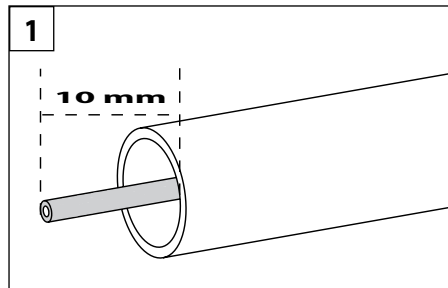
2.1 - インナー・ケーブル & アウター・ケーブル 技術仕様

フロント・ブレーキ インナー・ケーブル:	長さ 800 mm	径 1.6 mm
リア・ブレーキ インナー・ケーブル:	長さ 1600 mm	径 1.6 mm
フロント・ブレーキ アウター・ケーブル:	長さ 580 mm	径 4,9mm
リア・ブレーキ アウター・ケーブル:	長さ 1250 mm	径 4,9mm

3. ブレーキ・レバーの取り付け

フロント・ブレーキ アウター・ケーブル:	長さ 580 mm	径 4,9mm
リア・ブレーキ アウター・ケーブル:	長さ 1250 mm	径 4,9mm

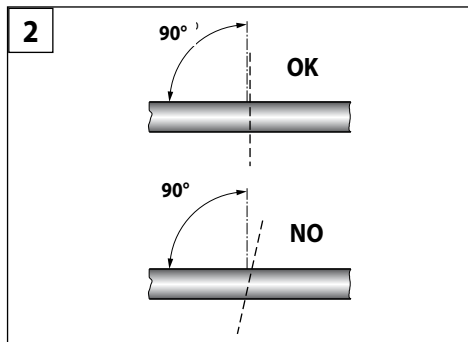
アウター・ケーブルをハンドル・バーの中に通し、正面から約10 mm程突き出します (図1)。



注意!

アウター・ケーブルをカットする前に、決定した長さがフレームのサイズに合っていることを確認してください。インナー・ケーブルとアウター・ケーブルを適正な長さに合わせないと、自転車の進行方向を変えたり操作するときの妨げになり、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

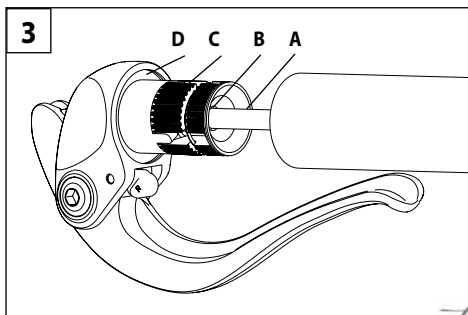
注意
アウター・ケーブルの断面を
変形させることなく、直角に
切断します (図2)。切断した
後、切り口が円形の状態を保ち、
インナー・ケーブルとアウター・
ケーブルの間に摩擦が生じないこ
とを確認します。



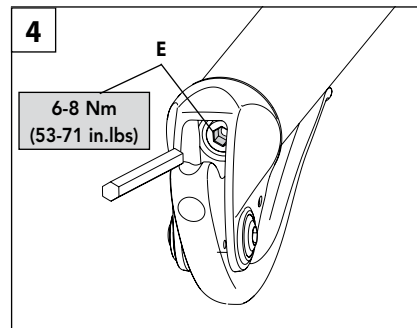
アウター・ケーブルの端 (A - 図3) を、裏側のハウジング (B - 図3) に差し込みます。

注意
バー・エンド・ブレーキに
ケーブル・キャップを使用
する必要はありません。

ブレーキ本体の差し込み部
分 (C - 図3) をハンドル・バ
ーに差し、Dの位置 (図3) ま
で挿入します。



4 mm六角レンチを使用し、プ
レーキ本体にセットされているね
じ (E - 図4) を **6 - 8 Nm (53
- 71 in. lbs)** のトルクで締め付
け、固定します。

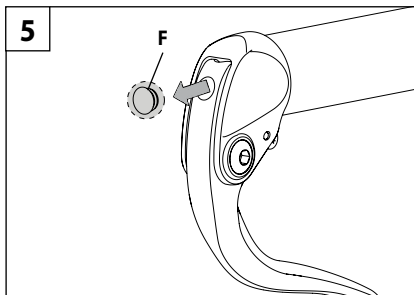


カーボン製ハンドル・バーに取り付ける際は、ハンドル・バーを損傷させないた
めに、トルクを下げる必要がある場合があります。

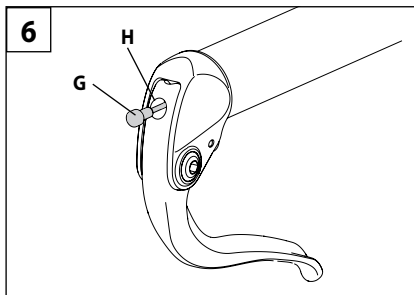
自転車とハンドル・バーの製造元に連絡し、正しい締め付けトルクに関する必要
な情報を入手してください。

4. インナー・ケーブルの取り付けと調整

ブレーキ・レバーの正面に付いているラバー・キャップ (F - 図5) を取り外します。



ブレーキ・レバーの穴 (H - 図6) と固定ねじの穴 (E - 図4 - 71ページ) に、インナー・ケーブル (G - 図6) を差し込みます。

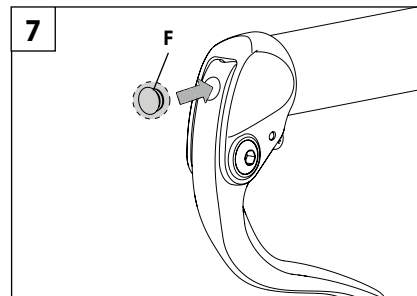


インナー・ケーブルがアウター・ケーブルの中を滑らかに動くことを確認します。

フロント・ブレーキのインナー・ケーブルは、長さが800 mmで、径は1.6 mmです。
リア・ブレーキのインナー・ケーブルは、長さが1600 mmで、径は1.6 mmです。

ブレーキ側の固定ねじを締め込み、インナー・ケーブルを固定します (ブレーキの取扱説明書をご覧ください)。

ブレーキ・レバーの穴に、ラバー・キャップ (F - 図7) を戻します。



注意!

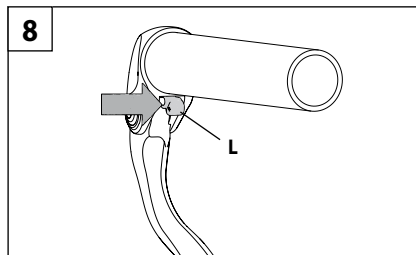
ケーブルを取り付けた後、ケーブルがハンドルの操作やその他の自転車の機能を妨げていないを確認してください。少しでも干渉があると、自転車の進行方向を変えたり操作するときの妨げになり、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

5. ホイールの取り外し

バー・エンド・ブレーキ・レバーには、ブレーキを開くボタンがあり、ホイールを容易に取り外すことができます。

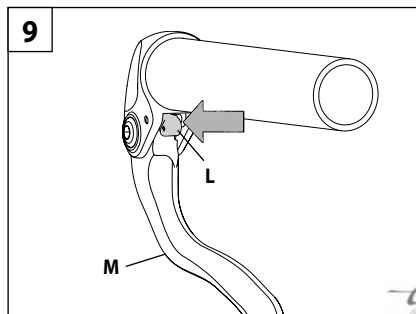
5.1 - ブレーキ・キャリパーの開口

ブレーキ・キャリパーを開くには、ボタン (L - 図8) を内側から外側に向かって押し込みます。



5.2 - ブレーキ・キャリパーのリセット

ブレーキ・レバー (M - 図9) の動きを有効にするには、ボタン (L - 図9) を外側から内側に向かって押し込みます。



6. バー・エンド・レバーのメンテナンス

インナー・ケーブルとアウター・ケーブルは、2年ごと、あるいは最長で20,000 Km走行することに交換する必要があります。

自転車をレースに使用した場合、ケーブルとアウター・ケーブルは、1年ごと、あるいは最長で15,000Km走行することに必ず交換してください。

上記の点検頻度はひとつの参考となる指標であり、自転車が使用されたコンディションや強度によって大きく異なります (重要な要素の例: レースへの参加、雨、冬季の塩の多い道、ライダーの体重など)。あなたの乗車傾向に応じた、最適な点検の頻度を決定するには、あなたのメカニックに相談してください。

土や泥は自転車とその構成部品に深刻な損傷を与えます。使用した後は、自転車をすみずみまで洗浄し、乾燥させてください。

圧力洗浄機で自転車を決して洗浄しないでください。圧力を掛けた水は、たとえばガーデン用ホースから出る水でも、カンパニョーロ®構成部品のガスケットを抜けて中に浸水し、修理不可能な損傷を与えることがあります。自転車とカンパニョーロ®構成部品は、水と自然な洗剤で洗浄してください。柔らかい布で拭き、乾燥させてください。研磨ブラシや金属ブラシは決して使用しないでください。